



COP27 交渉からの洞察 – 8日目



11月15日、COP27議長国は COP27のカバー決定に含まれる可能性のある要素の第一草案を発表しました。LGMA Constituency は、このドキュメントの今後の改訂版に以下の内容を含めるよう提案します。

1. パリ協定の実施と野心に不可欠な要素として、都市化とマルチレベルの協調行動を統合する
2. SURGe イニシアティブと都市化と気候変動に関する史上初の COP27 閣僚会議を歓迎し、将来の COP議長国にこの慣行を継続するよう奨励する

3. UNFCCC 事務局に対し、UNFCCC の議題の下で「都市化」を常設議題とするよう要請する

Art6.8に関する交渉はゆっくりと進んでいます。Local Climate Adaptive Living Facilityは現在、パラ19に新しい非市場的アプローチとして挙げられており、将来的には持続可能な都市化も非市場的アプローチとして含まれる道が開かれる可能性があります。このテキストはまた、地方および地方政府レベルでの成功した非市場アプローチの促進を予見しています。

11月15日の交渉に関する IISD/ENB の報道を [読んでください](#)。

LGMAパビリオンから

LGMA MULTILEVEL ACTION PAVILION

"We feel the urgency of implementation. We know negotiations are difficult, but the initiatives [LOTUS and SURGe] open the door for parties to come together under one umbrella."

AMB. AYMAN THARWAT AMIN

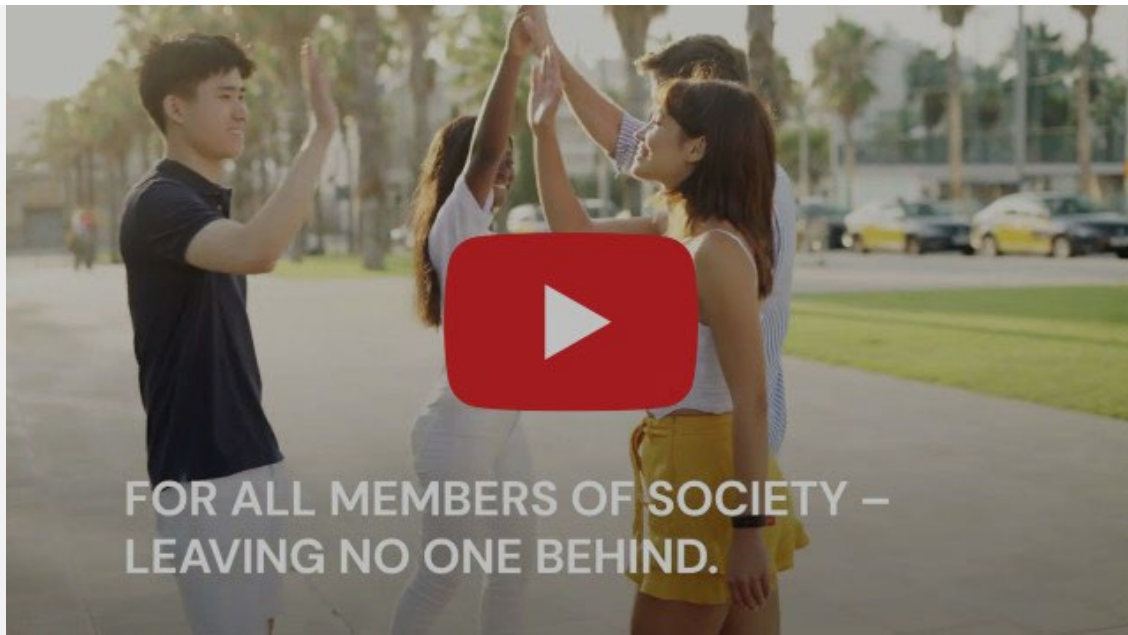
Minister of Plenipotentiary, Ministry of Foreign Affairs of Egypt



COP27でのSLOCAT輸送の日

SLOCATの主な目的の1つは、グローバルサウス（南半球）の声を確実に聞こえるようにすることです。国、地方、地域など、政府のさまざまなレベル間の調整を強化する必要があります。SLOCATはまた、徒歩、自転車、公共交通機関を可能にする行動を通じて、気候変動に対処する行動を呼びかけています。今日、地球の人口は80億人に達しているため、過去に輸送に関して下された決定は、人々や地球にとって持続可能ではありません。パネルディスカッションでは、アクティブモビリティが気候変動に取り組む方法として広く議論されているにも関わらず、重要視されていないことも明らかになりました。

SLOCATパートナーシップ事務局長のMaruxa Cardama氏は、セッションを総括し、サイロ化を避け、すべてのイニシアティブが何らかの形で相互に関連している必要があると強調しました。また、2030年を見据えた継続的な取り組みが重要であり、持続可能な開発目標との連動が必要であると述べました。



[TUMI E-Bus Mission City Network](#)に参加することで、e-bus への切り替えのメリットを学び、持続可能なモビリティリーダーになりましょう。

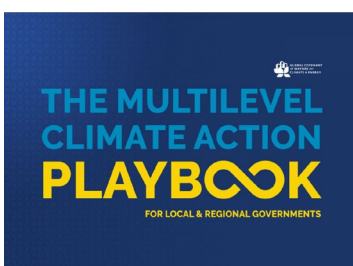


アフリカの海と青い資源は、気候変動の影響を緩和することができます

約3,000万人のアフリカ人が洪水の危険地帯の中に住んでいます。都市や地域は、ブルーエコノミーや海洋生態系、海洋、沿岸のインフラの保全に重要な役割を担っています。アフリカが繁栄するためには、海洋と気候に関する行動をすぐに起こす必要があります。

グローバル首長誓約 (GCOM) がマルチレベルアクションプレイブック 2.0を発表

トーゴ、オーストラリア、デンマークの地元の指導者たちは、政府のレベルを超えた現場での協力がどのようなものかについてのストーリーを提供し、野心を行動に移すためのガイドブックのパート2のリリースを支援しました。このガイドブックでは、マルチレベルでの加速を実現するための4つの主要分野、すなわち、政策的促進、実現



とそのプロセス、先駆者、各政府レベルへの推奨事項を紹介しています。

LGMAパートナーから



国家適応戦略：FCM からの勧告

カナダの国家適応戦略に対する FCM の勧告は、強力なパートナーシップ、スマートな投資、および協調と和解への公平性を中心としたアプローチを通じて、連邦および地方自治体がどのように取り組みを主導できるかについての大胆なビジョンを表しています。



アーバンシフトが年次報告書を発表

アーバンシフトの最初の年次報告書は、プログラムの実施初年度の刺激的なポートフォリオであると同時に、3大陸の23以上の都市で持続可能な低炭素成長を達成するための戦略のハンドブックとしても機能します。



共通報告フレームワークのエネルギー アクセスと貧困の柱

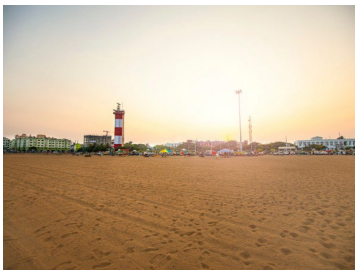
GCoMIは、共通報告フレームワークの「エネルギーアクセスと貧困の柱」を立ち上げました。12,500以上の署名者が公正なエネルギー移行に向けて行動を起こすための指標、ガイドライン、タイムラインのセットです。

メディアから



COP27: 「地方政府・自治体の声に耳を傾け、生物多様性のためのエジンバラ宣言から学ぶ」

Regions4、エジンバラ宣言のパートナー、スコットランド政府が主催するこのハイレベルイベントでは、生物多様性に関する COP27とCOP15 の関係を概説します。自然を活用した解決策と回復力のある解決策を統合するための課題と推奨事項を強調しています。



気候変動の専門用語と、それがチェンナイとその市民にとっての意味

COP27で各国が温室効果ガスの削減方法、損失と損害の賠償のメカニズム、「気候金融」のための新しい制度について議論する際、これらの議論とチェンナイで起こっていること、それが住民に与える影響を関連づけることが不可欠です。

今日のツイート

carbonn center ICLEI carbonn Climate Center @ICLEI_carbonn

“Resilience Development is needed to tackle climate emergency,” Maryke van Staden, #ICLEI Carbonn Climate Center spoke at Innovation Pavilion, Green Zone #COP27 🌍



U.S. Mayors @usmayors

Thankful for a strong partner in @BrendaMallory46 of @WHCEQ as mayors nationwide work to achieve bold climate and resiliency goals. #COP27 🌍





Angèle Tasse
@AngèleTasse

Join the community of global food organisations urging inclusion of food systems in a new mandate on #Koronivia. It is absolutely critical! Share the open letter to to #COP27 negotiators + ministers for people, climate and nature. @WWF bit.ly/3Tx54uF

#KoroniviaCrisis



Vincent Chauvet
@vincentchauvet

At @EU_Commission Pavilion at #COP27, @EU_CoR ENVE President @trzaskowski_ talking about local transitions: "You want to be ambitious, talk to us [Mayors]" 🙌 #EUatCOP27 #LGMA



今日のハイライト



科学から行動への都市政策立案者のための IPCC AR6要約の要約からの構築

このセッションでは、地方自治体や企業が科学的根拠をどのように政策決定や地域の気候変動対策に活かしているかを探ります。また、2022年 SUPプロセスの最終成果物である、SUPパートナーによって作成されたアクションアジェンダを発表し、プロセスに対する都市と企業の貢献を記録し、将来の協力のための道筋を描きます。



私たちはそれを行うことができます！気候変動に対する地域行動

この女性市長パネルに参加し、各地域の気候変動への取り組みや解決策、実施における課題や機会について [オンライン](#) で視聴できます。



アフリカにおける都市のレジリエンスの構築: 自然に基づくソリューションの活用

このセッションでは、あるアフリカの国が、パートナーや友人と協力しながら、都市の貧困層を優先した気候変動に強い開発のための独自の道を切り開いた方法を紹介します。また、最先端かつ状況に応じたレジリエンス・ソリューションを実践している他のリーダーたちからも話を聞くことができます。



持続可能な社会の実現における都市の役割

Urban7の活動に焦点を当て、国や地域のリーダーは、COPのエジプト議長国プログラムへの主な期待を確認し、2023年のG7議長国日本での都市課題の展望を模索します。

イクレイ日本内田東吾事務局長、環境省ほか神戸市長、横浜市、札幌市が登壇しました。[アーカイブビデオ](#)の視聴が可能です。是非ご覧ください。



気候の緊急事態におけるアフリカの都市のレジリエンスの構築

アフリカの都市は（その規模を問わず）今、かつてないほどの気候変動の影響を受けています。世界で最も脆弱な地域でレジリエンスを構築するためには、資金調達、食料・水不足への対応、自然や海洋の保護が中心となります。[こちらからオンライン](#)で視聴してください。



都市化と気候変動に関する初の閣僚会議

閣僚会議は、マルチレベル行動のためのパリ協定のコミットメントを強化し、気候変動対策の加速にコミットし、[次世代のための持続可能な都市レジリエンス（SURGe）イニシアティブ](#)を正式に開始します。

パビリオンアジェンダの概要

マルチレベル アクション パビリオン パートナー

LGMA Multilevel Action Pavilionは、UNFCCC COP27のブルーゾーンにおける地方政府および地域政府の拠点であり、40以上の団体から支援を受け、70以上のセッションで豊富なプログラミングと有意義なダイアログを開催し、#MultilevelActionDeliversを披露しています。



ご質問やサポートについては、
cop27.pavilion@iclei.org までメールでお問い合わせください。

著作権 © 2022 ICLEI - 持続可能性のための地方自治体。全著作権所有。
これらのメールの受信方法を変更したいですか？
設定を更新するか、このリストから退会することができます